

OiBokkeShi × 三重県文化会館

「介護を楽しむ」

「明るく老いる」

アートプロジェクト



OiBokkeShi「老人ハイスクール」(2015)

# 老いのプレーパーク 仲間募集

よりよく老いるヒントは、「遊び」の中にある。

岡山中、地域の人々や91歳になる看板俳優“おかじい”とともに演劇をしている菅原直樹さん。劇団名はOiBokkeShi（オイボッケシ）。介護福祉士／俳優でもある菅原さんのつくる作品は、老いること、生きること、死ぬことを優しく映し出します。

今回は、菅原さんと一緒に遊びをテーマに活動してくれる仲間を大募集。12月には発表イベントも開催します。演劇作品上演のほか、全員で意見を出し合い、展示や出し物などの企画を考え、発表イベントを盛り上げませんか。年齢・国籍・演劇経験不問。若者からシニアまで大歓迎。身体が動かしづらい、耳が遠い…、そんなことはノープロブレムです。

みなさんで遊びながら「老い」「ボケ」「死」の幸福なストーリーを編み出しましょう。

## 活動内容について

### ■活動スケジュール

6月から定期的に月1～2回集まり、メンバー同士の交流を深めます。11月・12月は発表準備や稽古のため、月に5～6回集まって活動します。

12/22(土)・23(日) 発表イベント本番  
(演劇公演 + 展示や出し物)  
於：三重県文化会館 小ホール

※集まる日程はメンバーの予定にあわせ調整して決めます。場所は基本的に三重県総合文化センター内です。

### ■参加条件

年齢・国籍・演劇経験不問。若者からシニアまで大歓迎！ものづくりや料理、絵を書くのが得意、人と接するのがお好きなど、ご自身の特技や趣味を生かしたい方を募集しています。

### ■ファシリテーター

#### 菅原直樹

(奈良町アート・デザイン・ディレクター)

「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。俳優、介護福祉士。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。2012年より、家族と共に岡山に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇のあり方を模索している。OiBokkeShiの活動に密着したドキュメンタリー番組「よみちにひはくれない～若き“俳優介護士”の挑戦～」(岡山放送 OHK)が第24回 FNS ドキュメンタリー大賞で優秀賞を受賞。2017年には、その活動がNHK「こころの時代」にも取り上げられる。



## 申込について

### ■申込方法

裏面の申込用紙にご記入の上、下記いずれかの方法でお申し込みください。(申込用紙は、三重県文化会館webサイトからもダウンロードいただけます。)

【郵送】 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234  
三重県文化会館「老いのプレーパーク」係

【Fax】 059-233-1106

【窓口】 三重県文化会館チケットカウンター

【E-mail】 kenbun@center-mie.or.jp

※件名を「老いのプレーパーク」とし、お送りください。

### ■申込締切

3/31(土) 必着

※応募者多数の場合選考あり。詳細は締切後ご連絡します。

### ■お問い合わせ

三重県文化会館「老いのプレーパーク」事務局 担当：堤  
TEL：059-233-1100 E-mail：kenbun@center-mie.or.jp

### ■企画・製作

主催：三重県文化会館、OiBokkeShi 助成：(財)地域創造

### OiBokkeShi × 三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクトとは？

三重県文化会館では、2017年より、岡山中で介護に演技を取り入れたワークショップや、高齢者とともに演劇をつくる活動を行っている俳優／介護福祉士の菅原直樹さんをお迎えし、3年間のアートプロジェクトを実施しています。2017年前期は「介護を楽しむ」をテーマに、県内の介護施設や病院、介護福祉コースのある大学、介護家族の会でワークショップを開催。後期は、老若男女さまざまな世代の皆さんと、演劇を通して、もう一つのテーマ「明るく老いる」について考えてきました。2年目となる2018年は、これらの活動を記録・調査したレポートの発行、演劇作品の製作に取り組みます。

WEB <https://www.center-mie.or.jp/oibokenbun/>

Twitter @oibokenbun Facebook <https://www.facebook.com/oibokenbun/>